



第64回日本医学検査学会 ランチョンセミナー〈1〉のご案内

テーマ：「安心・安全な採血室実現を目指して(RFID認証システムの導入)」

座 長：東邦大学理学部教育開発センター 臨床検査技師課程 教授 横田 浩充 先生

演 者：鳥取大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師長 原 文子 先生

日 時 5月16日(土) 12:20~13:10

会 場 第2会場(福岡国際会議場 2F 201)



RFID検体情報統括管理システム

TRIPS (Technomedica Rfid Process control System)

外来・病棟での一括確認を可能にしました。

検査室での検体到着確認、病棟での検体到着確認および採血後の検体搬出確認、尿検体自動提出確認、検体保管庫内での位置確認から検体廃棄まで、検体のトレーサビリティに至る幅広い展開を可能にします。

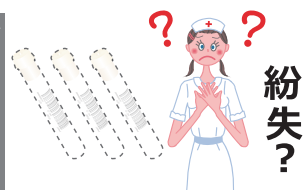
次世代検体管理 — 効率化と安全性を同時に実現！

安全性

一括読み取りで
瞬時に確認。

●不足が分かれば
すぐ病棟へ連絡！

バーコードでは



紛失？

RFIDでは

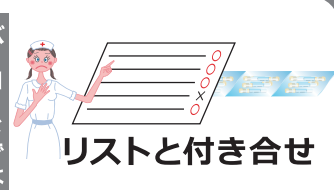


検体到着 **即確認**

業務軽減

受取り確認の
引き継ぎ等の
業務が軽減。

バーコードでは



リストと付き合せ

RFIDでは



リスト確認 **不要**
(看護師の業務引継にも有効)

効率化

一括読み取りによる
検体確認時間の
大幅な短縮が可能。

バーコードでは



100本読取 **約5分**

RFIDでは



100本読取 **約4秒**

様々な分野で

定期確認



RFIDでは



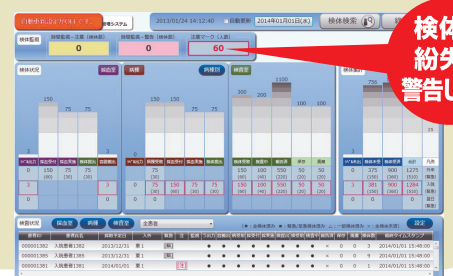
尿検体提出確認

自動認識



検体監視 モニター

- 検体の動きをリアルタイムに監視し到着遅れ検体を警告します。
- 検索し、各記録時間状況を表示します。



検体の
紛失を
警告します